

7 地方分権について

（1）地方分権改革を進めることについて

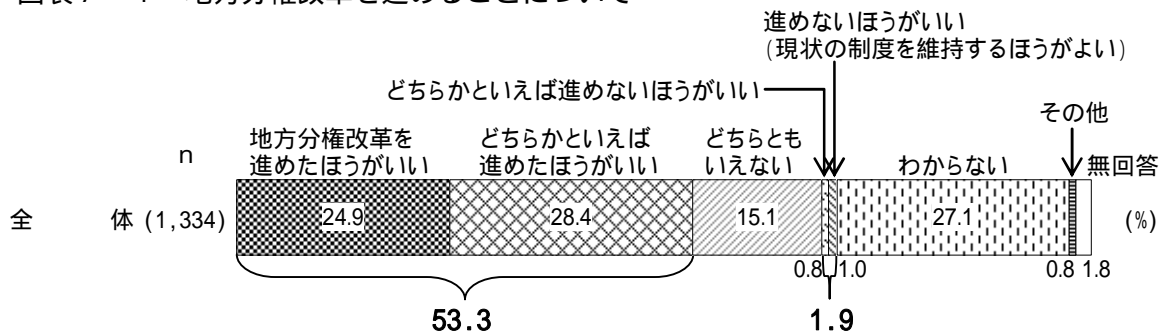
『進めたほうがいい（計）』が5割を超える

問37 地域で抱える課題が多様化・複雑化する中、創意工夫により地域の実情に応じた課題解決を図り、住民サービスの向上につなげるため、県では、国に対して事務・権限や税財源の移譲を求めるとともに、「提案募集方式」()を通じて地方の創意工夫による制度改革を提案するなど、地方分権改革の推進に取り組んでいます。

あなたは、この地方分権改革を進めることについて、どう思いますか。(は1つ)

「提案募集方式」とは、国が個々の地方公共団体等から地方分権に関する制度改革の提案を広く募集し、それらの提案の実現に向けて検討を行う制度のことでです。

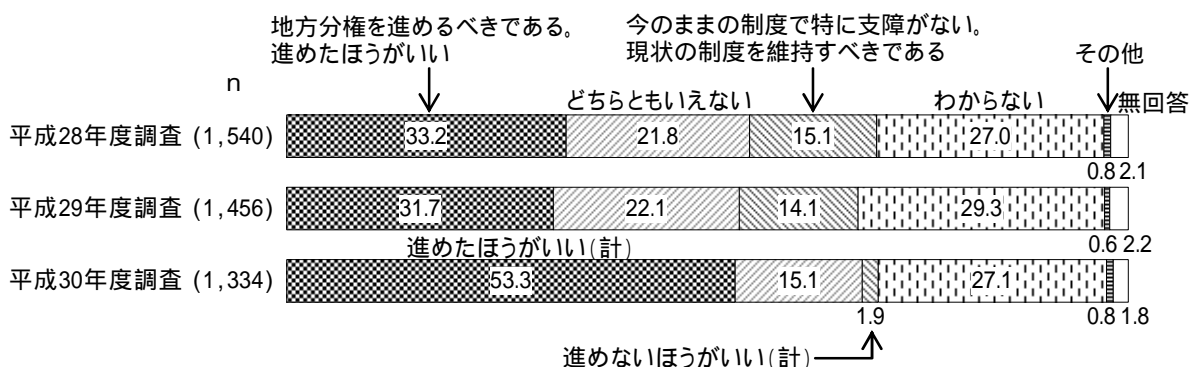
<図表7-1> 地方分権改革を進めることについて



地方分権改革を進めることについて聞いたところ、「地方分権改革を進めたほうがいい」(24.9%)と「どちらかといえば進めたほうがいい」(28.4%)を合わせた『進めたほうがいい(計)』(53.3%)が5割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえば進めないほうがいい」(0.8%)と「進めないほうがいい(現状の制度を維持するほうがよい)」(1.0%)を合わせた『進めないほうがいい(計)』(1.9%)はわずかとなっている。(図表7-1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



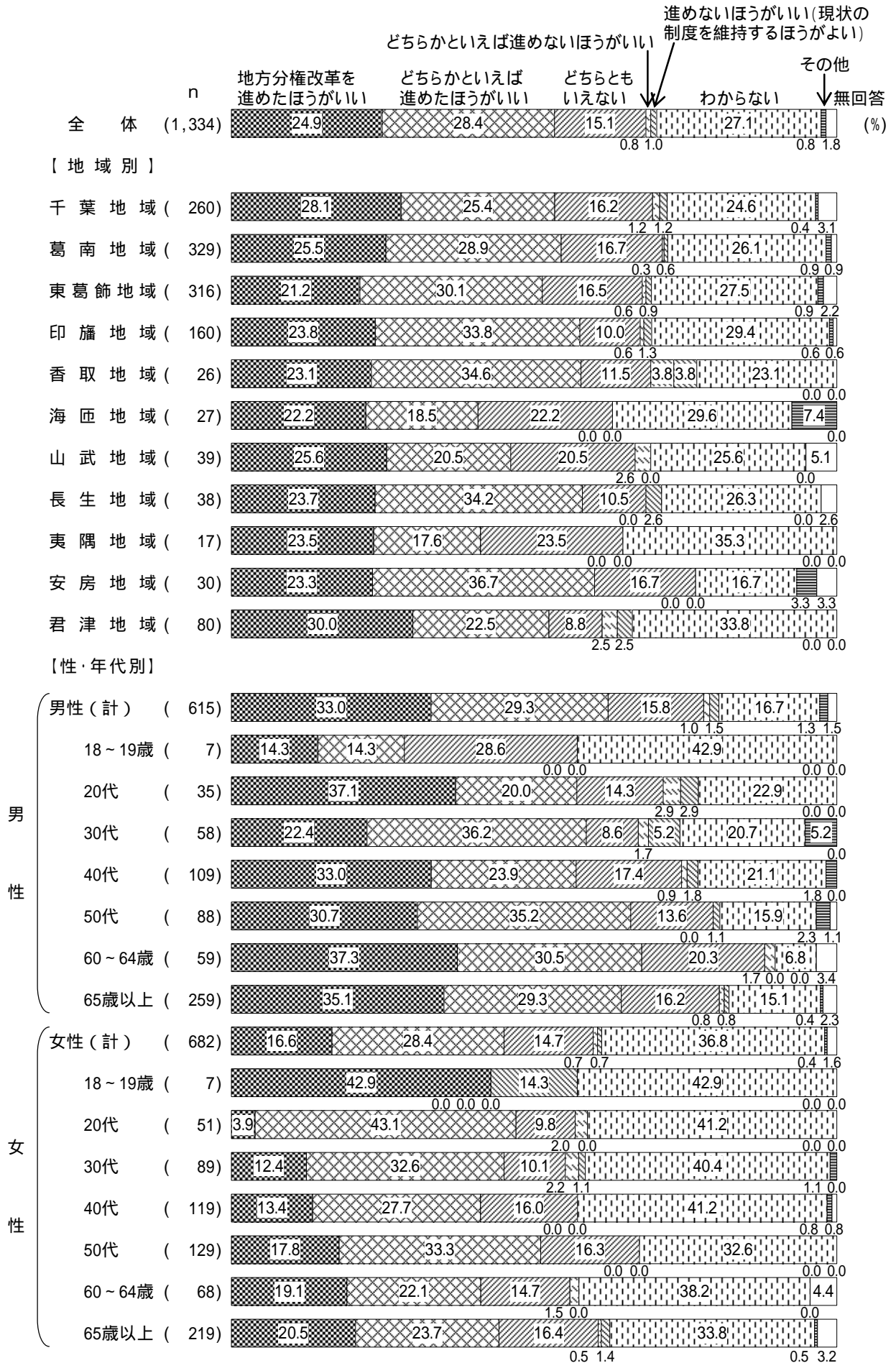
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『進めたほうがいい(計)』は男性の60~64歳(67.8%)が約7割、男性の50代(65.9%)と男性の65歳以上(64.5%)が6割台半ばで高くなっている。(図表7-2)

<図表7 - 2> 地方分権改革を進めることについて / 地域別、性・年代別

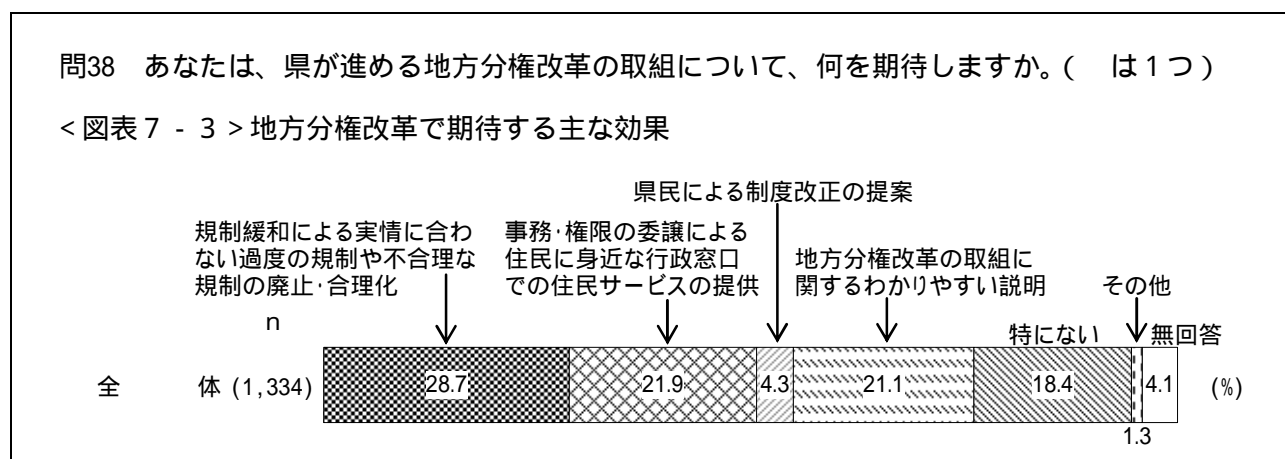


（２）地方分権改革で期待する主な効果

「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」が約３割

問38 あなたは、県が進める地方分権改革の取組について、何を期待しますか。（は1つ）

<図表7-3> 地方分権改革で期待する主な効果



県が進める地方分権改革の取組について期待する効果を聞いたところ、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」(28.7%)が約3割で最も高く、以下、「事務・権限の委譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」(21.9%)、「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」(21.1%)、「県民による制度改正の提案」(4.3%)が続く。

(図表7-3)

【地域別】

地域別にみると、「事務・権限の委譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」は“香取地域”(38.5%)が約4割で高くなっている。

「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」は“長生地域”(42.1%)が4割を超えて高くなっている。(図表7-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」は男性の40代(45.9%)が4割台半ば、男性の50代(38.6%)が約4割で高くなっている。

「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」は女性の60～64歳(30.9%)が3割で高くなっている。(図表7-4)

<図表7 - 4> 地方分権改革で期待する主な効果 / 地域別、性・年代別

